

第 19 回富士山世界文化遺産学術委員会における主な意見 (11 月 15 日開催)

(報告 1) 今夏の富士山の状況について

特に意見なし

(議事 1) 令和 3 年度経過観察指標に係る年次報告書（案）について

- ・ 建造物の劣化については、長期計画を立てながら、きちんと整備をしてほしい。
- ・ 経過観察指標については、新たな指標を盛り込むことを検討してもらいたい。
- ・ 来年、世界遺産登録 10 周年を迎えるので、年次報告書の 10 年を振り返ることをしてもいいかもしれない。

(議事 2) 新型コロナウイルス感染症影響調査について

- ・ 新型コロナウイルス感染症は山小屋や登山者の意識に大きな影響を与えたのではないか。コロナ後の「望ましい富士登山のあり方」について、データやアンケートに基づいて検討を進めてもらいたい。
- ・ 弾丸登山の是非については、様々な見解があるので、用語の定義の見直しや危険性について、生理学的な研究も踏まえて進めてもらいたい。
- ・ マイカー規制と登山者数の相関関係について調査をしてもらいたい。
- ・ 登山者数の平準化について、2024 年に現在の来訪者管理計画の見直しをするに当たり、今までの対策と今後の方策について検討する必要がある。